

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	市議会会派合同行政視察
実施日	令和元年8月22日(木)～23日(金)
参加議員	若林幹雄、阿部貴代枝、高森公武、山浦利通

1 東御市における課題と研修・調査の目的

湯の丸高原スポーツ交流施設(特設プール)が今年度完成予定であり、(株)オーエンスが指定管理者に決定された。プール施設の適切な維持管理体制や利用者へのきめ細かなサービス提供などの運営状況等を確認するため類似施設である「千葉県国際総合水泳場」の行政視察を行い見識を深める。

自然災害が多発する中、市町村単独では対応不可能な広域的な甚大な被害に対し関係団体等が協力して応急復旧活動を行う基幹的広域防災拠点「東京臨海広域防災施設」の行政視察を行い見識を深める。

昨年度、首都圏の基幹市場として築地市場から豊洲市場に移転された。市内農産物(野菜・菓物等)の食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現、環境に配慮された先進的な市場「豊洲市場」の行政視察を行い見識を深める。

2 経費

用途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	交通費代	貸切バス代、電車賃、有料道路代等 (@20,012×4名)	80,048
○調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 (@184×4名)	736
研修費	日当	宿泊料、日当 ( (@13,000+@2,200×2日) ×4名)	69,600
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
合計			150,384

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和元年 8 月 22 日 13 時～14 時 30 分
視察場所及び 部局等	千葉県国際総合水泳場施設
視察事項	湯の丸高原プールの指定管理を依頼する(株)オーエンスが、指定管理を受けている現場の施設を視察する。
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際総合水泳場は、メインプール、飛込プール、トレーニング室等の広大なプール等を完備。年間利用者数は、492,796 人。</li> <li>・指定管理を受けている(株)オーエンスの指定管理の現状、オーエンスは、の昭和 34 年委設立、資本金 1 億円、従業員数約 4,900 人。全国に 27 拠点を持ち、ISO 認証資格等を持つ。指定管理は、全国 80 件 215 施設の実績がある。</li> </ul> <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳場の施設を見学後、施設の状況の説明を受ける。</li> <li>・(株)オーエンスの指定管理の状況の説明を受ける。指定管理の管理運営方針は、各地での実績、ノウハウを生かして、安全、安心、快適な利用環境を提供し、スポーツ推進と活発な交流に貢献するとする。</li> <li>・プールの安全管理を中心に、プールの監視、監視員の心肺蘇生法の訓練、水質管理等徹底した総合管理を心がけていることの説明を受ける。</li> </ul> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際総合水泳場の施設の広大さ、設備など、東御市とは比較にならない利用内容等施設が整備されていることを感じた。近くにこのような施設があり、なおかつ、湯の丸高地トレーニング施設を合わせて使用すると、センターポールに日の丸が実現するのにと感じた。</li> <li>・(株)オーエンスの運営状況や実際に行っている管理状況などを聞き、安心して指定管理を依頼できる会社であると感じました。</li> </ul>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和元年 8 月 22 日 15 時 45 分～16 時 45 分
視察場所及び 部局等	東京臨海広域防災公園
視察事項	昨年の台風 19 号の被害を受け、日ごろの災害に対する準備等の学習をし、防災に勤める。
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要          ここは、基幹的広域防災拠点として、臨海副都心の立地を生かし、首都圏広域防災のヘッドクォーターとなっている。本部棟、備えエリア、ヘリポート、エントランス広場、多目的広場等を備える。</p> <p>(2) 視察事項について          実際に、防災体験ゾーン、防災学習ゾーンでの体験をした。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること          実際の体験ゾーンでは、地震発生後 72 時間の生存力をつける体験に挑戦することが出来た。暗い中での、建物の崩れた中での体験で、本当にこのようなことが起きたら、生きていけないのではと感じた。          この体験は、都会の中であるから東御市とは違うが、この体験をもとに、自分たちの地域での防災をもっとしっかり、考え、備えていかなければいけないと感じた。</p>

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 3)

実施日時	令和元年 8 月 23 日
視察場所及び 部局等	豊洲市場施設
視察事項	東京周辺の食を支える状況を視察
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 今まで築地市場が関わってきた東京周辺の食事情が豊洲市場に移転した。敷地面積は、407,000 m<sup>2</sup>。延べ床面積 517,000 m<sup>2</sup>。水産仲卸売場棟、水産卸売場棟、青果棟、多くの店等が並ぶ。</p> <p>(2) 視察事項について 広大な東京周辺の食をどのように支えるか。移転が大きな問題になっていた豊洲市場の運営はどうかなどが知りたいと考えたが、市場を見学し、説明を受けながら、あまりの広さに驚くだけであった。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 大きく報道されて移動した豊洲市場。セリなどの場所も見せていただいたが、広くて、便利にできており、今の市場だと感じた。 全国から寄せられて大都会の食が支えられているのだと感じた。 東御市も、大きな組織で野菜や穀物などを生産して、この市場に送り出せることが出来、東御市の美味しい食べ物を味わってほしいと感じた。</p>

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	磐田市（議会改革について） 袋井市（健康マイレージ事業について） （株）コーケン工業（障がい者、高齢者に優しい会社作りについて）
実施日	令和元年7月16日～17日
参加議員	若林幹雄、山浦利通、高森公武、阿部貴代枝

1 東御市における課題と研修・調査の目的

<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会改革について 東御市では、予算決算の在り方、議会報告会の現状と課題など、なかなか進まない議会改革の現状を踏まえて、先進的な磐田市の状況を学ぶため。</li> <li>・健康マイレージ事業について 東御市でも行っているが、広がりを感じられないので、先進地では、どのように推進しているかを学ぶため。</li> <li>・障がい者、高齢者に優しい会社作りについて コーケン工業の社長の話を福祉センターでお聞きし、実際はどうか、会社の状況を見学したかったため。</li> </ul>
---

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	電車賃	上田駅他～磐田市～袋井市の電車代	105,480 ①
	飛行機代		
	タクシー	磐田駅～市役所～コーケン工業	3,830 ②
	レンタカー		
	ガソリン代		
	宿泊料	6,500円×4名	26,000 ③
	日当	2,200×2日×4名	17,600
	資料代		
	謝礼		
	土産代	2,040円×3ヶ所	6,120 ④
合計		159,030	

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.1)

実施日時	令和元年7月16日 午後13時30分～15時
視察場所及び 部局等	磐田市役所 磐田市議会事務局
視察事項	議会改革について
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要 静岡県磐田市は、人口約170,000人、歳出規模は、約63,269,593千円。一般職員は、1000余人。</p> <p>(2) 視察事項について ・予算、決算の在り方について 事前説明について、款項目、重点事業などどこまで審査されるか。 ・議会報告の現状と課題について</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること ・議会基本条例を平成24年に制定、市長等に反問権を認めている。 ・議員定数を20年度、24年度の2回に分け、34人から26人に減じて、議員のスキルアップを図っている。 ・予算決算委員会で、議員間討議を実施、インターネットの映像配信を行い、タブレット端末から閲覧が可能となっている。 ・議会報告会は、30年度は、1日、6会場で、時間を分けて実施。29年度のまとめによると、全体の参加者は、135人、60～70代の人が多い。若い年齢層や、議会に対して、市政に対して等の多くの市民の関心があまりない感じはしたが、出された意見を議員間で検討して、出された意見を大切に考えている。 *いろいろお聞きしたが、議会活動や行政に対する関心の薄さは、東御市と同じようだが、市民から出された意見等は、各委員会でしっかり話し合わせ、まとめもきちんに行われていると感じた。東御市の場合は、市行政に対する意見だということであまり深く議員間の討議がされにくいのが、磐田市では、しっかり行い、それを活かそうとすることに、学ぶべきことが多かった。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和元年 7 月 16 日 午後 16 時～17 時 30 分
視察場所及び 部局等	静岡県磐田市 (株) コーケン工業
視察事項	障がい者、高齢者に優しい会社作りについて
報告 内容	<p>(1) 視察先概要 昭和 46 年創立パイプ加工を中心とした会社。約 300 人の従業員。 第 7 回「日本で一番大切にしたい会社」賞を受賞。</p> <p>(2) 視察事項について 最高 90 歳から 18 歳までの 4 世代の従業員と、障がい者と高齢者に 優しい会社作りをしていると、東御市社会福祉協議会で研修会を受け、 コーケン工業の村松会長の話を聞いたので、現状はどうかと視察に行 った。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 本当に高齢な男女が多く働いていた。また、障害のある皆さんも多く 働き、自分の担当の業務をしっかりとこなしているのに驚いた。 働く工場の中は、暑く、粉じんも少し舞うような中ですが、扇風機 などもまわり、間違えてはいけないので、皆黙って仕事をしていた。 会長の説明もたくさんいただき、食堂などは、とても広く清潔感が ありました。工場の中が暑いので、飲み物の自動販売機は、50 円と安 く提供し、ボーナスも年間 3 回支給するという。 働いている顔も皆さんいきいきとしていて、私たちに、明るい笑顔 で挨拶もしてくれる態度を見て、本当に高齢者や、障がい者に優しい 会社ということが分った。 「人を育てる」ことを理念としている部分がにじみ出ている。 定年制が無いので、いつまでも働ける会社で、このような会社があ れば、働きにくい方々の雇用が広がり、東御市でもこのような事業所 があるとよいと感じた。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和元年7月17日 午前9時30分～11時
視察場所及び 部局等	静岡県袋井市 袋井市総合健康センター 健康づくり課
視察事項	健康マイレージ事業について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 人口は、約 88000 人、世帯数は、約 35000 世帯 平成 30 年 4 月の高齢化率は、23.1%でとても若いまち。</p> <p>(2) 視察事項について 健康マイレージ制度の実施について</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 平成 5 年に「日本一健康文化都市」宣言をする。 平成 18 年度に「健康チャレンジ！！スマイル運動」がスタート 平成 19 年度に「健康マイレージ制度を導入。取り組みをポイント化して公共サービス券と交換できるシステムを導入。 改善やシステムのリニューアルをくりかえし、幼稚園や、学校にポイント寄付制度を導入。また、ポイント交換メニューを民間のサービス券を登録制度として取り入れ、「e-すまいる」で、携帯電話のインターネット・メール機能を活用。1 ポイントを 2 円から 3 円に価値をアップし、さらに健康づくりの意識を高めるために、ボーナスポイントを付与した。 平成 30 年度に新システム「#2961 ウオーク」として、歩数をベースとした健康づくりの取り組みをポイント化、クーポン処理がすべて、画面上で完結できるようにした。 このシステムに切り替えたのがまだ 1 年ほどで、参加者は多くはないが、次第に増加はしているという。 サービス券に交換する人も多いが、学校や幼稚園への寄付も次第に増え、市内 52 施設へ、報奨金として支出したのが（平成 28 年度）約 125 万円。 平成 30 年 12 月末の登録が 2900 人、この 7 月では、3900 人を超えているという。次第に増えている手ごたえはあるとのこと。 システムの改修に、約 1150 万円を要した。年間の維持管理費は 500 万円位であるが、とても興味を引く事業で、学校等への寄付が出来乍ら健康維持もできるこの取り組みは非常に良いと感じ東御市でも検討してもらいたいと感じた。</p>



政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	富山県南砺市「小規模多機能自治」について 富山県砺波市「住み慣れた自宅で暮らす支援」について
実施日	令和2年2月4日～5日
参加議員	若林幹雄、山浦利通、高森公武、阿部貴代枝

1 東御市における課題と研修・調査の目的

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小規模多機能自治」について 東御市では5地域のまちづくりが進められているが、南砺市の取り組みは、生活の中での困りごとに対してのまちづくりの取り組みや、婚活の取り組みが効を奏していると聞き、その実態を学びたかったため。</li> <li>・「住み慣れた自宅で暮らす支援」について 在宅介護は誰でも望むところで、データービスを中心とした在宅介護が行われていることを知り、どのような取り組み方をしているのかを研修したかったのだ。</li> </ul>
---

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）	
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	電車賃	滋野～上田～新高岡～福光往復	72,960	①
	飛行機代			
	タクシー	ホテル～ケアポート庄川～新高岡	13,340	②
	レンタカー			
	ガソリン代			
	宿泊料	11000円×4名	44,000	③
	日当	2200円×2日×4名	17,600	
	資料代			
	謝礼			
	参加負担金			
	土産	2000円×2か所	4,000	④
	合計			151,900

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和2年2月4日 13時30分～15時
視察場所及び 部局等	富山県南砺市 市民協働課
視察事項	小規模多機能自治「共同のまちづくり事業」
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要 人口は約50000人。世帯数17686世帯。 1年に700人位の減少、高齢化率38.9%</p> <p>(2) 視察事項について 市民と一緒にやる協働事業で、婚活や空き家対策を推進している。 特にまちづくりは、東御市のような行事的なものを主に行っているのではなく、暮らしの中の困りごとなど生活に密着したまちづくりが行われている。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 婚活は、市長を先頭に、市民がいろいろな工夫を凝らし、おせっかいお婆さんの進め方をし、9年間に126組が成婚している。 空き家対策は、市外からの入居などに、補助金をたくさん出している。この点は、東御市では、あまり参考にはならなかった。 小規模多機能自治は、今までの区づくりなどの組織の見直しを住民と共にやってきた。島根県の雲南市をモデルに、そこへ視察などを行って、住民主体のまちづくりにしている。範囲は、概ね小学校区単位で行う。地域の課題を住民が自ら事業化をして、課題を解決している。地域同士の学び合い、活動を紹介し合い、発表会をし、意識を高めている。 また、地域と行政の協働の場を設け、安心生活見守り事業、産直や憩いのコーナーを作る笑んがわ市など、住民に直結した事業を、行政と共に住民が行っている。 小規模多機能自治の、小規模は、旧小学校単位の自治振興会（東御市の五地区単位）、多機能とは、地域の課題解決に結びつく多面的な活動（地域包括ケア事業の住民主体で行う生活支援事業など）自治は、行政ではなく、住民自治そのものです。 今までの地域づくりは、役員だけでやっていて、皆で考えて解決する組織にはなっていない。人気の短い自治会長や、団体長の組織では、課題解決に向けた継続性がない、行事をこなすだけの組織であり事業への意識が低い。これからの時代を担う若い人や女性が勉強に来ていない。若い人や女性を多く取り組んでいないので、出席しても話しにくい環境である。などのいろいろな意見が出され、市民会議を開催して、理想像を検討した。 今の東御市に無い検討が繰り返されている。大いに参考になる事例だった。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

実施日時	令和2年2月5日 午前9時30分～11時
視察場所及び 部局等	富山県砺波市 ケアポート庄川
視察事項	「住み慣れた自宅で生きがいを持って暮らせるための支援」について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要 ケアポート庄川は、入所が80床、デイサービスが、40人と50人、小規模多機能型が10床の施設。</p> <p>(2) 視察事項について デイサービスを中心として、在宅で豊かに暮らせる支援を中心に行っている。施設の形態を研修。北御牧のみまき福祉会と3つのぽまるということで連携をしている。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 介護老人保健施設が80床、通所リハビリの通所リハビリテーションが40名、デイサービスは50名、こじんまりとしたデイサービスが10名、楽しみながら介護予防や認知症予防の予防広場が10名、在宅かいご支援センター、居宅会議支援事業所、ボランティア室といろいろなサービスが幅広く行われている。</p> <p>施設は、最高を十分に取り入れてとても開放感が溢れている。老人保健施設という特徴を取り入れたリハビリ機能がたいへん充実していた。包括的に在宅の支援を提供出来、地域の信頼度が高いという感じを受けた。</p> <p>また、驚いたのは、ボランティアの部屋を設けて、豊かなサービスが提供できるようにとボランティアの活動が大きな部分を占めていたことだ。入浴後の整容、シーツ交換、昼食の食事介護、話し相手など幅広く活躍している。30年度は、活躍回数が2100件、登録者数は600名もいるそうです。</p> <p>ボランティアが喫茶室を設け、コーヒーや、日常必要な用品や菓子などを販売している。買い過ぎないように目も配っているとか。</p> <p>また、職員の人材育成に力を入れ、人材の確保や育成に最も力を入れている。毎月1～2回の研修メニューを用意して、機会をとらえて勉強している。その他に職員間の自主的な研修、ケアカフェを取り入れてもいる。常に内外の講師を迎えながら職員のスキルアップを図っている。</p> <p>日常の多忙な仕事の中でこのような取り組みが行われていることに敬服した。きっと入所者や利用者にとってもよい環境づくりがされているのだと感じた。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)